

# 宗像市の家計簿

## (令和元年度決算)



宗像市経営企画部財政課



## 宗像市の各会計と決算額について

- ・市が仕事をするために必要なお金を管理する財布を「会計」といいます。
- ・会計には、「**一般会計**」、「**特別会計**」、「**企業会計**」があります。
- ・一般会計は、教育・福祉や道路・公園の管理など、**市の基本的な行政サービス**を行う会計です。
- ・特別会計は、特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険の事業を行う会計などがあります。
- ・企業会計は、主に利用者からの料金収入で事業を行う会計です。下水道事業を行う会計があります。
- ・宗像市には、一般会計など**9つの会計**があります。（令和元年度末現在）

令和元年度決算額

（億円）

区分	歳入	歳出	差引
一般会計(1)	377.0	364.6	12.4
特別会計(7)	208.5	202.8	5.7
企業会計(1)	36.2	41.1	▲ 4.9
合計	621.7	608.5	13.2

( )の数字はそれぞれの会計数



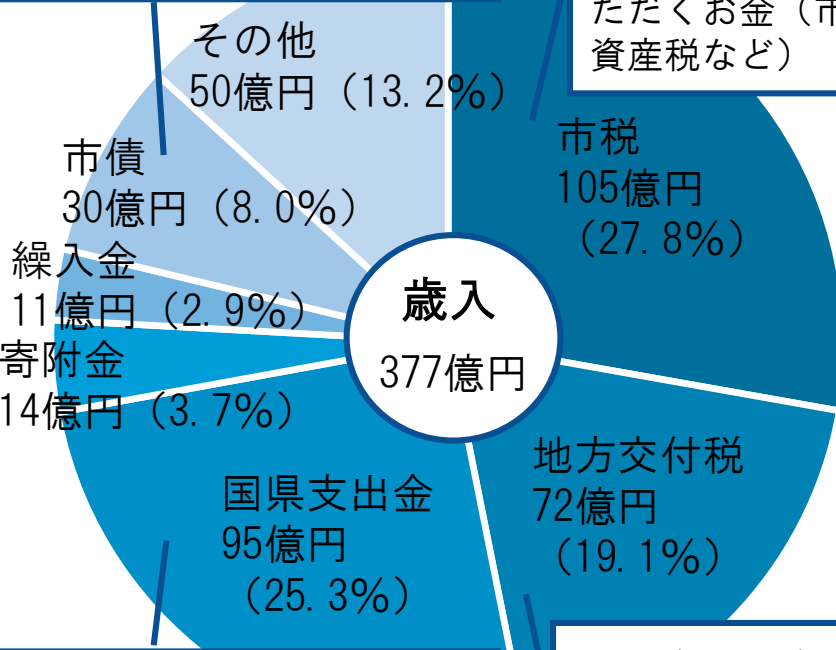
収入の種類や使い道などに応じて会計を分けることで、分かりやすく、収支が明確となるメリットがあります。

# 一般会計決算額について

道路や公園、学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金

市が借り入れた市債（借金）の返済にかかるお金

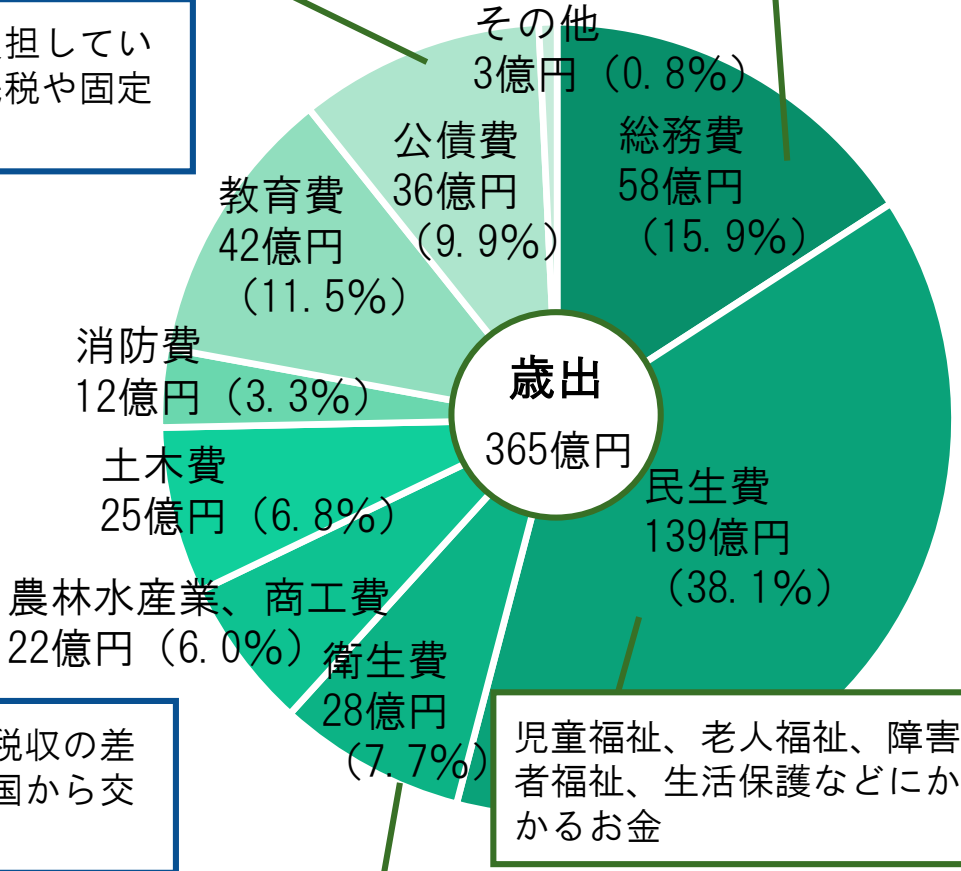
市役所の運営に必要な管理事務にかかるお金（庁舎管理、徴税、戸籍など）



市民の皆さんに負担していただくお金（市民税や固定資産税など）

用途を特定して、国から交付されるお金

地方（市町村）の税収の差を調整するため、国から交付されるお金



生活環境の保持にかかるお金（保健衛生やごみ収集、公害対策など）

児童福祉、老人福祉、障害者福祉、生活保護などにかかるお金

# 一般会計決算額について

## ◎令和元年度決算の特徴

**【歳入】 377億円**で、前年度と概ね横ばいとなりました。

- ・ **市税**（市民税・固定資産税など）は、105億円でした（前年度比 +1億円）
- ・ 国から交付された**地方交付税**は72億円でした（前年度比 +2億円）
- ・ **国県支出金**は、95億円でした（前年度比 +13億円）
- ・ 全国から支援いただいた**寄附金**（ふるさと寄附）は、14億円でした（前年度比 ▲2億円）
- ・ **基金**（貯金）を取り崩した**繰入金**は、11億円でした（前年度比 ▲2億円）
- ・ 金融機関から借り入れる**市債**（借金）は、30億円でした（前年度比 ▲8億円）

**【歳出】 365億円**で、前年度に比べて7億円減りました。

- ・ **総務費**（庁舎の管理費用や徴税、戸籍に必要な費用）は、58億円でした（前年度比 ▲11億円）
- ・ **民生費**（福祉に必要な費用）は、139億円でした（前年度比 +0.6億円）
- ・ **衛生費**（保健衛生やごみ収集などに必要な費用）は、28億円でした（前年度比 ▲2億円）
- ・ **農林水産業・商工費**（産業振興に必要な費用）は、22億円でした（前年度比 +2億円）
- ・ **土木費**（道路や公園の管理・整備に必要な費用）は、25億円でした（前年度比 概ね横ばい）
- ・ **消防費**（消防や救急に必要な費用）は、12億円でした（前年度比 +1億円）
- ・ **教育費**（教育や文化・スポーツの振興に必要な費用）は、42億円でした（前年度比 +5億円）
- ・ **公債費**（市が借り入れた借金の返済金）は、36億円でした（前年度比 ▲2億円）

# 市民一人あたりのお金の使い道について

- ・一般会計の決算額を市民一人あたりに換算すると、38万円の市民サービスを行っています。

## 民生費

福祉の充実に

14.4万円

高齢者・障害者福祉  
子育て支援など



## 教育費

教育・文化の振興に

4.3万円

小中学校の運営、文化、  
スポーツの振興など



## 衛生費

環境・衛生の向上に

2.9万円

ごみの収集と処理  
予防接種、環境保全など



## 土木費

道路・公園の  
整備と管理に

2.6万円

道路や橋、公園の管理  
駅前整備など



## 総務費

市役所の管理や  
市政運営に

6.0万円

市役所の維持管理やふる  
さと寄附の事務、コミュ  
ニティ活動など



## 農林水産業・商工費

産業の振興に

2.3万円

農地や漁港の管理  
農林水産業の活性化  
商工業・観光の振興



## 消防費

消防や救急に

1.2万円

消防団や消防施設の管理  
運営、防災対策など



## 公債費

借金の返済に

3.8万円

市が借り入れた市債の  
償還元金と利子



# 宗像市の決算を家計簿におきかえてみると…

- ・一般会計の歳入を年収480万円（月収40万円）に置き換えたときの家計簿は次のとおりです。

収入月額		支出月額		
給料	市税・地方交付税など 265万円	食費	人件費 50万円	
医療費や家の改修等に対する助成金	国県支出金 122万円	医療や保育料など	} 義務的経費 119万円	
家の改築の為にローン（借金）	市債 39万円	ローン（借金）の返済		46万円
その他雑入	諸収入、寄附金など 40万円	家の改修や車の買い替えなど		53万円
貯金から取り崩したお金	繰入金 14万円	光熱水費や電話代など	71万円	
		家族への仕送りなど	109万円	
		貯金	積立金 16万円	
収入 480万円		支出 464万円		

※義務的経費とは…支出（歳出）のうち、必要となる見込みの金額が決まっています。支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費のこと。人件費や扶助費、公債費からなっています。この割合が高くなると家計に余裕がなくなること（財政の硬直化）を意味しています。

## 家計簿をもう少し詳しく見てみると（10年前との比較）

- ・ 10年前の平成21年度の『むなかた家』家計簿（宗像市決算）と比較してみると、**少子高齢化の進展に伴って、医療費（扶助費）に係るお金が大きく増えています。**
- ・ 支出は10年前と比べて73万円増えています。（H21年度391万円→R元年度464万円）

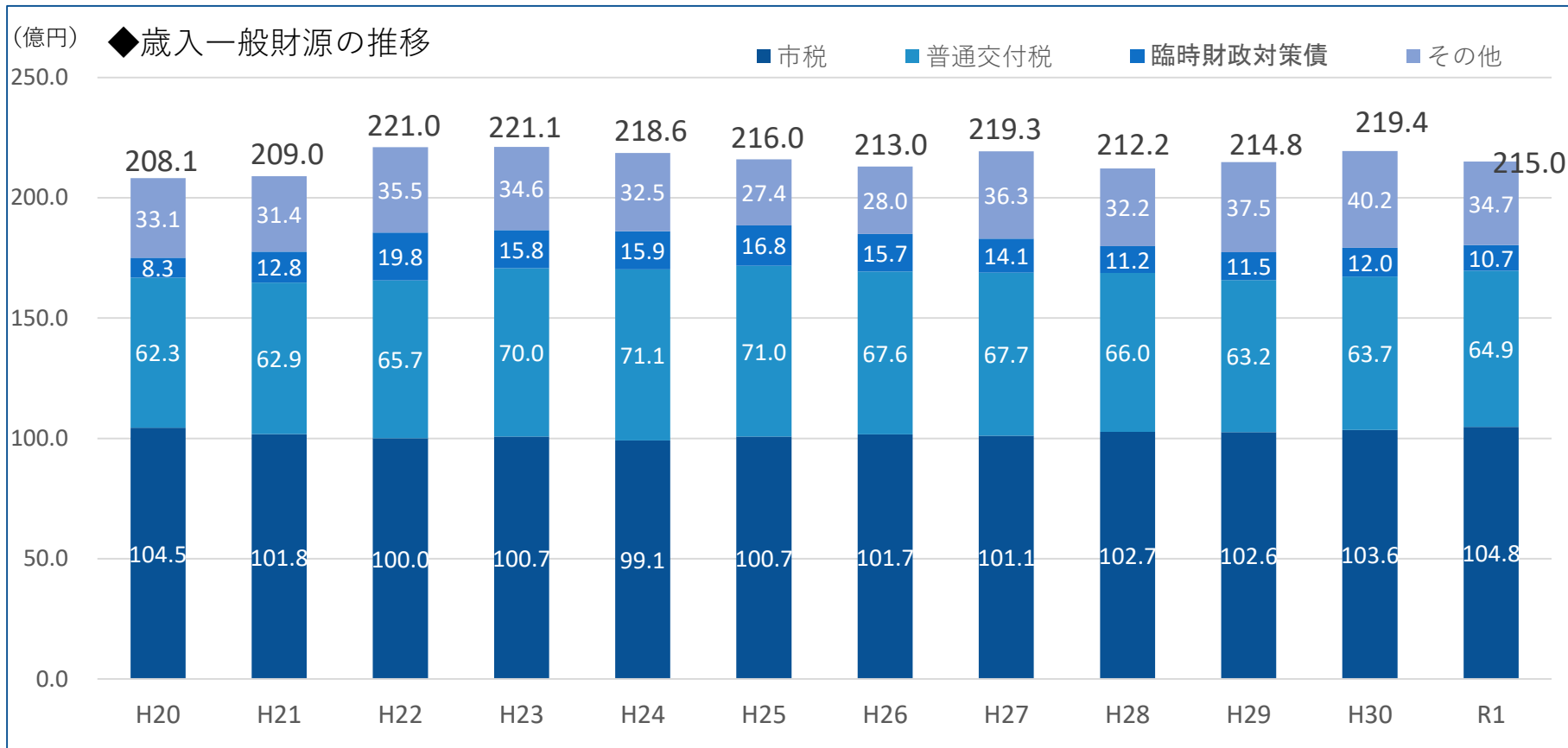
区分		10年前 (平成21年度)	現在 (令和元年度)
収入	給料など (市税、地方交付税、使用料など)	252万円 (21万円/月)	265万円 <b>+13万円</b> (22万円/月)
	雑収入 (寄附金、財産収入、諸収入)	6万円 (0.5万円/月)	33万円 <b>+27万円</b> (2.8万円/月)
	貯金取り崩し (繰入金)	0円	14万円 <b>+14万円</b> (1.2万円/月)
支出	食費 (人件費)	48万円 (4.2万円/月)	50万円 <b>+2万円</b> (4.2万円/月)
	医療費など (扶助費)	62万円 (5.2万円/月)	119万円 <b>+57万円</b> (9.9万円/月)
	仕送り (繰出金、補助費等)	101万円 (8.4万円/月)	109万円 <b>+8万円</b> (9.1万円/月)



# 宗像市の財政状況について・・・収入

- ・収入（歳入）の一般財源は、ここ10年間はほぼ横ばいで推移しています。
  - ・市の収入の重要な財源である市税は、毎年約100億円で推移しています。
- 今後も各種施策を推進し、人口の維持と税収の確保に努めていきます。

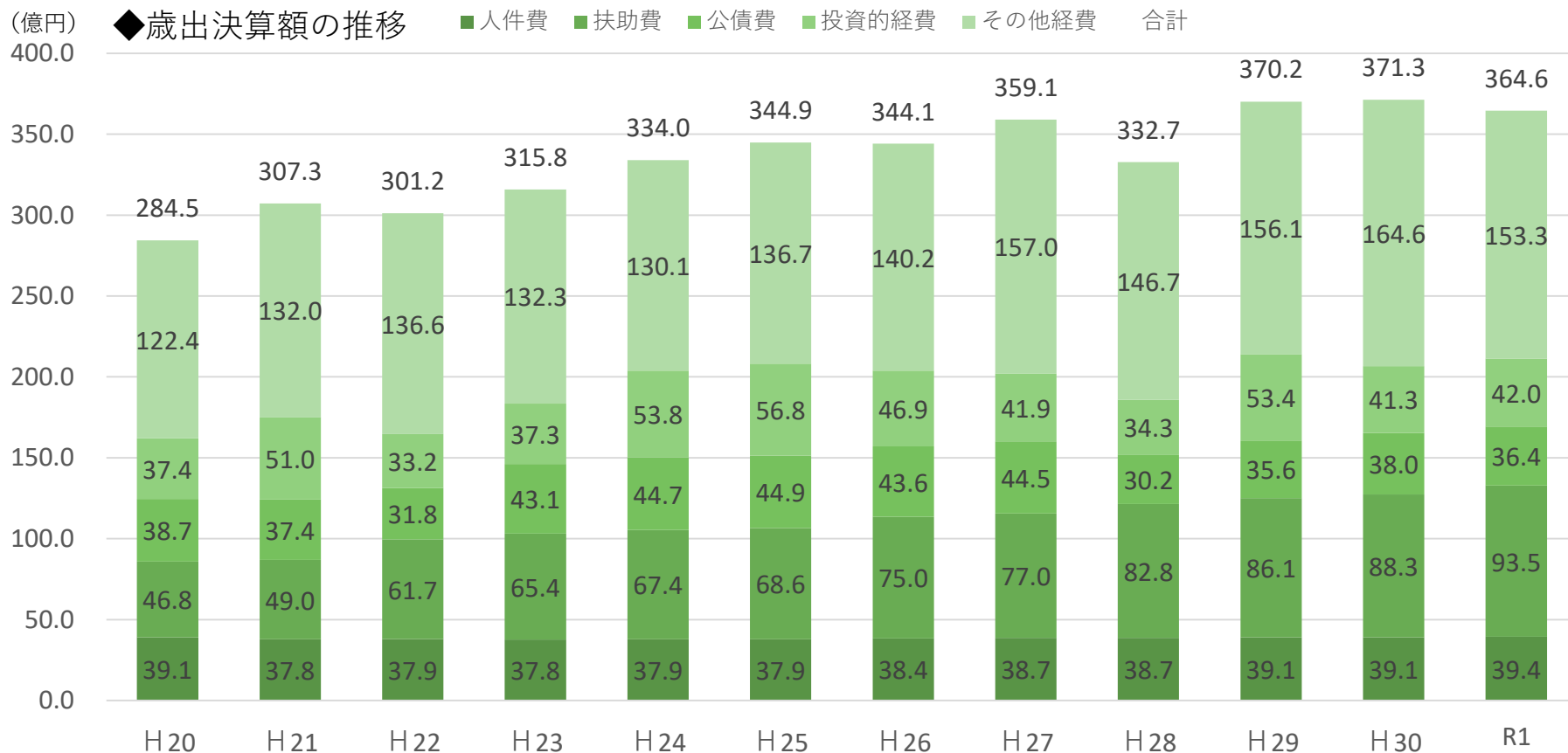
※一般財源とは…お金の使い道が特定されず、どのような経費にも使うことができるもの。市税や地方譲与税、地方交付税などが一般財源とされます。市が自主的な判断のもとに、地域の実態に応じた施策を行うためには一般財源の確保が重要です。





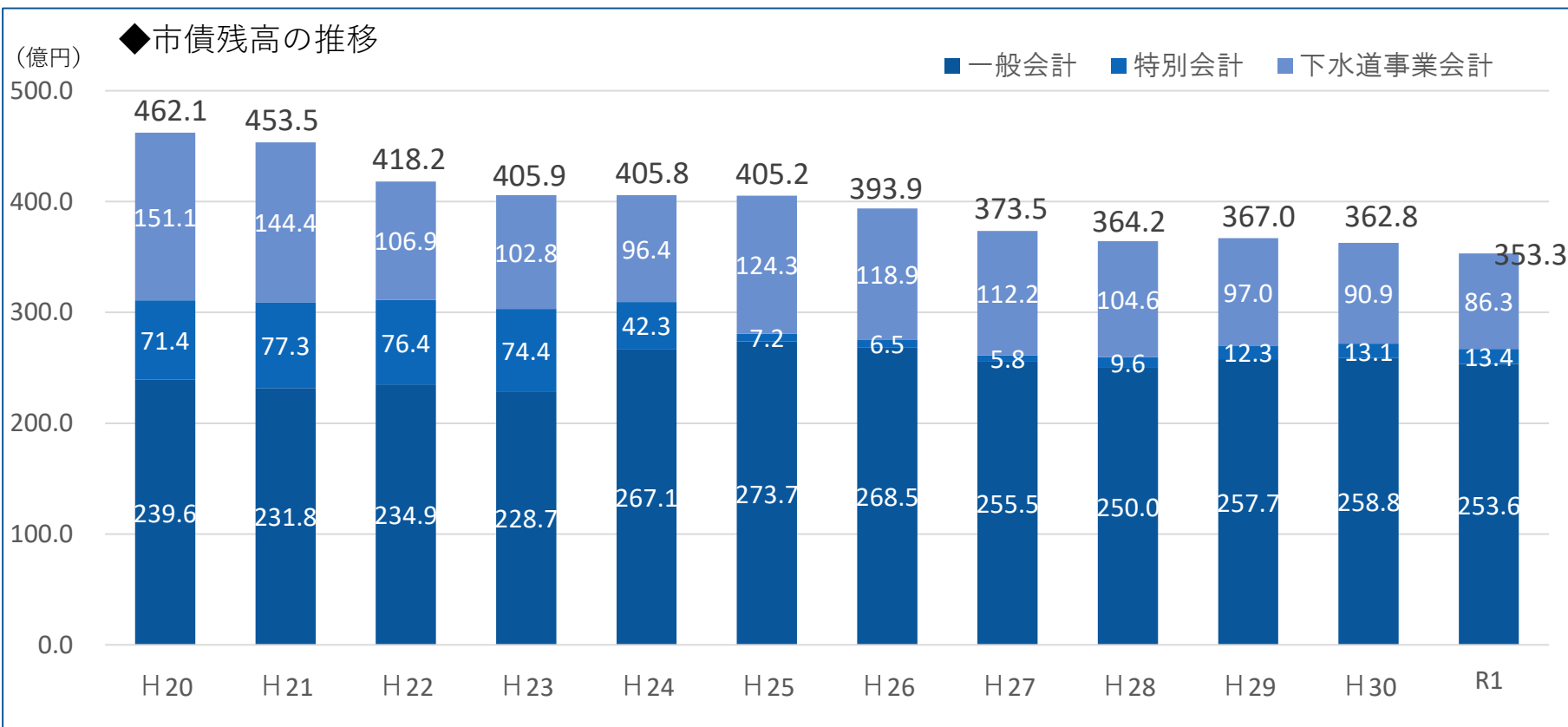
# 宗像市の財政状況について・・・支出

- ・ 少子高齢化の進展に伴い、扶助費が大きく伸びており、支出（歳出）額は年々増加しています。 ※扶助費とは…医療や児童・高齢者・障害者などに対する福祉のために必要な経費
- ・ 収入に大きな伸びが見込まれない中で、扶助費などの経費の増加により、新しい事業への**投資**に使えるお金が年々少なくなってきています。



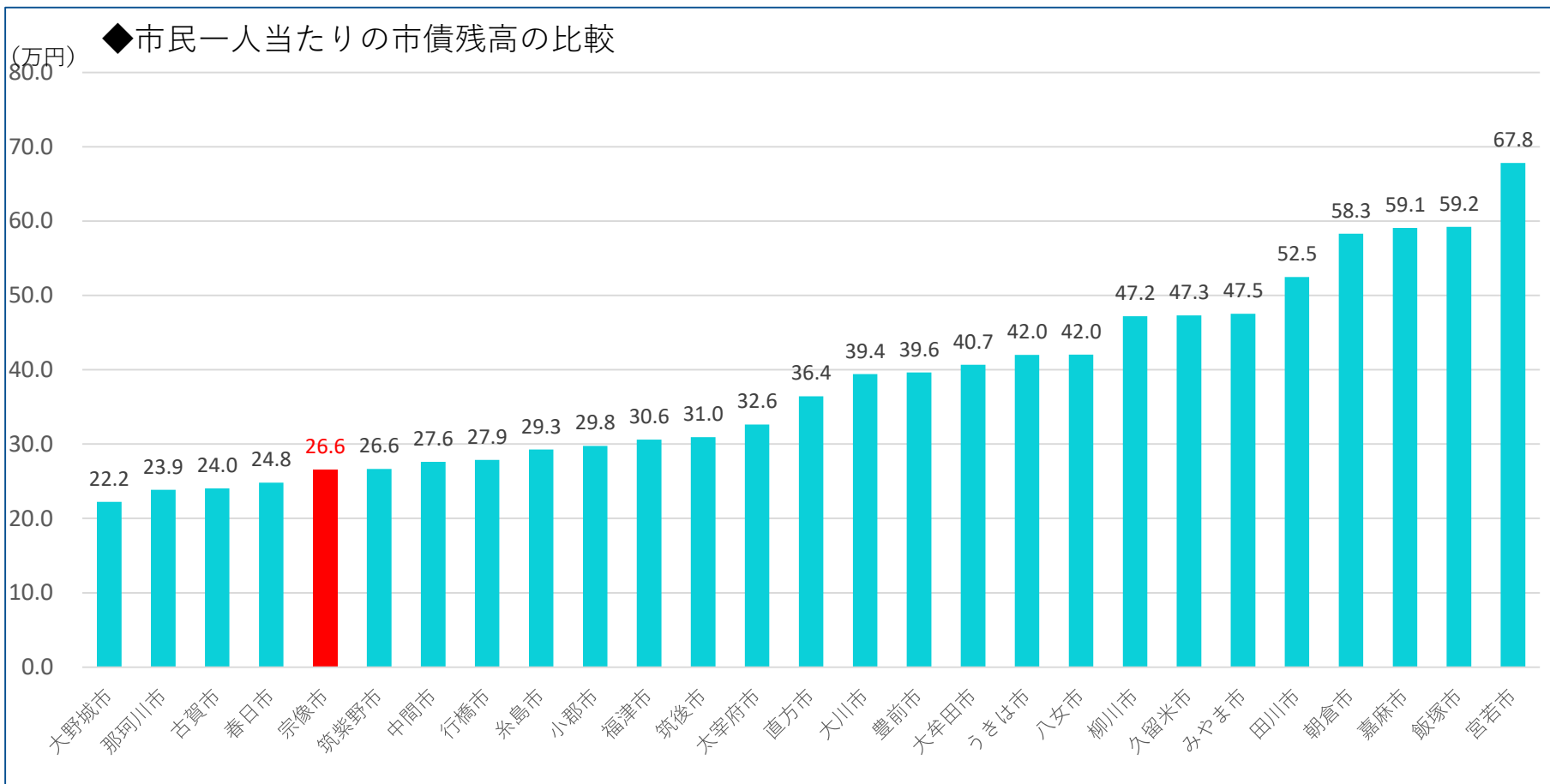
## 宗像市の財政状況について・・・市債

- ・宗像市が抱える借金（市債）は、**約353億円**です。 ※令和元年度末市債残高（全会計ベース）
- ・道路や下水道の整備のほか、JR赤間・東郷駅の周辺整備やコミュニティセンターの建設などに市債を活用して事業を行ってきました。
- ・何十年もの長期にわたり利用される公共施設は、将来世代の市民にも公平に負担してもらう考えから借金（市債）をして整備が行われています。



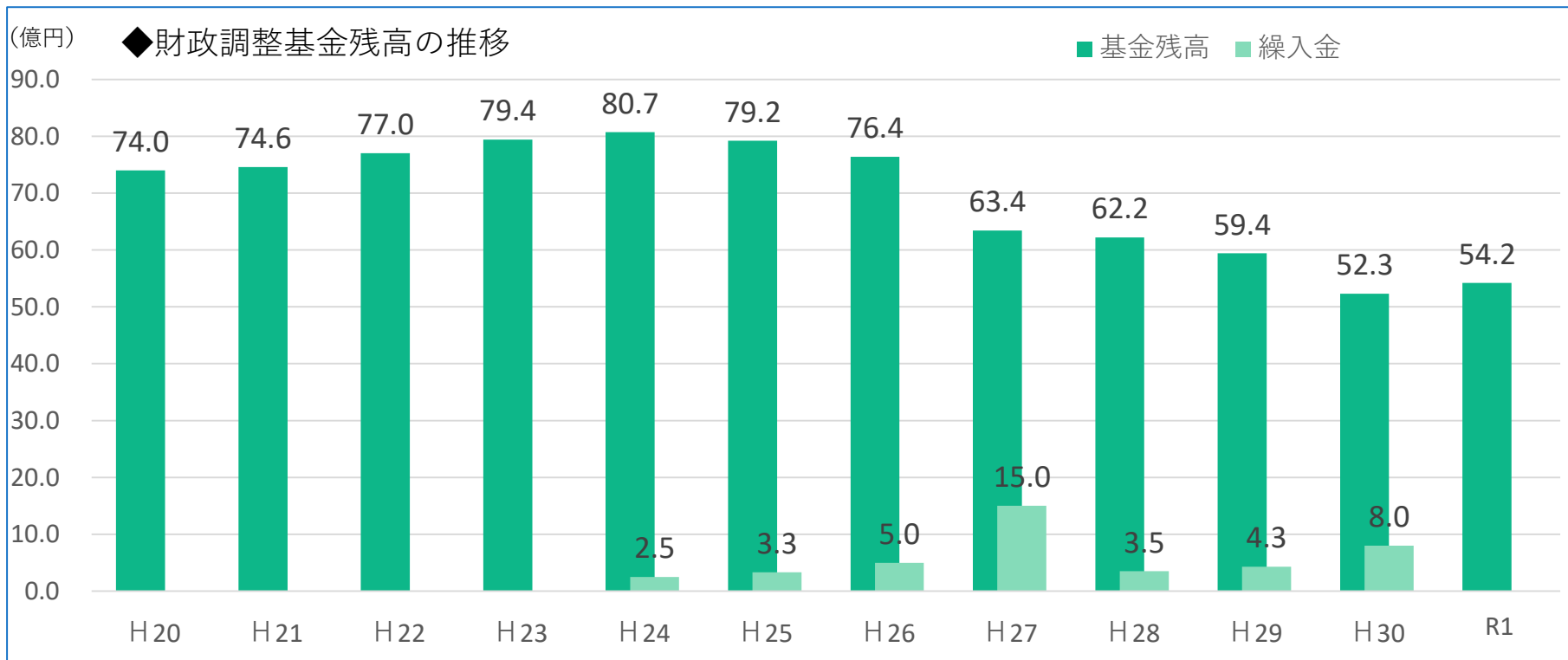
# 宗像市の財政状況について・・・市債

- ・ 宗像市の市民一人当たりの市債残高は、約26.6万円です。  
※平成30年度市債残高（普通会計ベース）を人口（平成31年1月1日現在）で割った金額
- ・ 県内の他の市と比べても低い水準（5番目/27市中）にあり、将来世代への負担は比較的低い状況にあります。



## 宗像市の財政状況について・・・基金

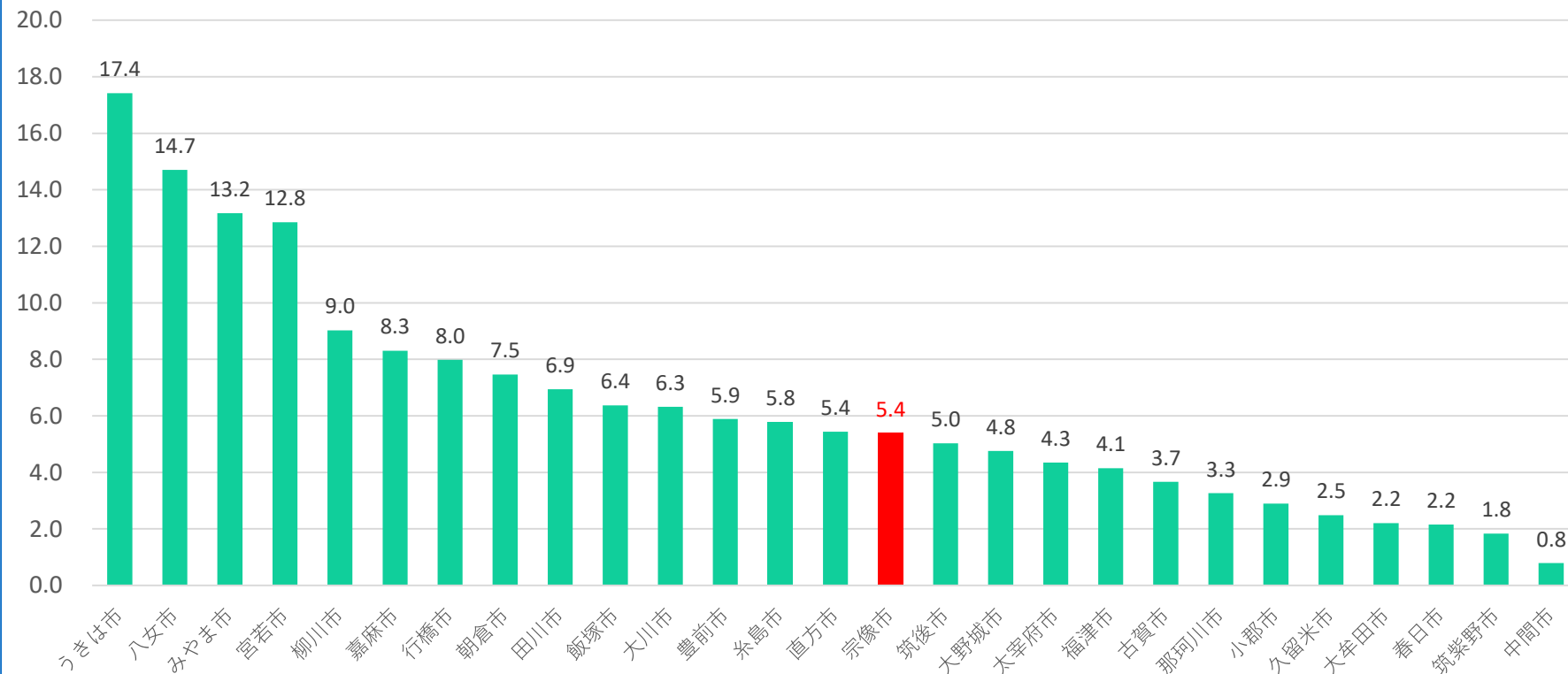
- ・ 財政調整基金とは、市の財政運営において年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。財源に不足が生じる場合においては、この基金を取り崩しながら財政運営を行っています。
- ・ 令和元年度は財政調整基金の繰入を行わなかったことから、前年度より2億円増加しています。
- ・ 今後も不測の財政需要に柔軟に対応すべく、より一層の**行財政改革**と**歳出削減**を実行していく必要があります。



# 宗像市の財政状況について・・・基金

- ・宗像市の市民一人当たりの基金残高は、約5.4万円です。  
※平成30年度財政調整基金残高を人口（平成31年1月1日現在）で割った金額
- ・県内の他市と比べると、27市中15番目に位置しています。  
※政令指定都市を除く県内27市
- ・今後の財政状況を勘案すると、財政調整基金残高の減少に歯止めをかける必要があります。

（万円） ◆市民一人当たりの財政調整基金残高の比較



## 宗像市の将来見通しについて

・ 今後の財政見通しとして、

- ① 医療や福祉に必要な扶助費が今後も伸び続ける
- ② 国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療への公費負担の増加
- ③ 公共施設の老朽化に伴う施設の維持管理費用が増加

・ ・ が想定されます。

・ 今後はこうした財政需要に柔軟に対応していくため、行財政改革を推進し事務事業を抜本的に見直し、行政運営の効率化を図ります。  
公共施設等の管理運営においては計画に沿った対策を図り、安全性を最優先に確保しつつ、より効果的な施設の在り方を検証していきます。

宗像市の財政状況は市ホームページ  
「市政情報」 > 「市の財政」でもご覧いただけます。

⇒ <http://www.city.munakata.lg.jp/>